

当社シンガポール現地法人 SCES は、ロイヤル・ダッチ・シェルのシンガポール現地法人の優良ベンダーとして大きな貢献を果たしています

当社の親会社住友化学は、長期的な視野で世界の市場に進出すべく、1970年代シンガポール・ジュロン島を拠点として石油化学事業を拡大しました。

1977年に「Petrochemical Corporation of Singapore Pte. Ltd. (PCS社)」を設立し、1980年には「The Polyolefin Company (Singapore)Pte. Ltd. (TPC社)」を設立しました。

1983年にはASEAN初のエチレンセンターとして設備が完成し、翌1984年からPCS(エチレンプラント)、TPC(ポリオレフィンプラント)の操業が始まりました。

一時は難航したシンガポール石化プロジェクトでしたが、その成功は国内外に強烈な印象をもたらしました。その成果は、その後2009年に操業を開始した大規模プロジェクト「ラービグI期計画(サウジアラビア)」につながって行きました。シンガポールに於ける住友化学グループの関係会社は、現在10社におよんでいます。



当社のシンガポール現地法人(略称SCES: Sumitomo Chemical Engineering Singapore Pte. Ltd.)は、住友化学のシンガポールでの事業展開に歩調を合せ、TPC社でのプロジェクト遂行拠点であったオフィスをシンガポール支店として1984年に開設し、更に東南アジアでの事業拡大を目指し、2010年に現地法人化しました。現在120名を超える陣容で、EPC(設計・調達・建設)事業を行っています。

1984年以来、当社は主としてPCS社、TPC社でのプラント建設、増強・改造及び定期メンテナンス業務を遂行し、エンジニアリング能力を高めてきました。今ではシンガポールの地元に根ざした組織として、SCESは高い評価と信頼を得ています。

ところで、PCS社及びTPC社への出資会社でもある国際石油資本(石油メジャー)のロイヤル・ダッチ・シェル社は、シンガポールにも巨大石油化学プラントを有しております。

(注)シェルのシンガポール現地法人はShell Eastern Petroleum(Pte.)Ltd.Singapore

SCESは昨年、このシェル現地法人からのEPC事業実績や経営安定性から安全管理などに渡る厳しい予備資格審査(Pre-Qualification)に合格して、シェルのベンダーリストに登録されました。これは、当社のシンガポールでの1984年来のたゆまぬ努力の成果であると、私たちは自負しています。

登録後の最初の受注として、タンクヤードの改修プロジェクトを受注しました。安全を重視するシェルの安全方針のもと、工期が短く厳しい管理が問われましたが、2015年1月に無事故・無災害でプロジェクトを完工することができました。お客様からは高く評価され、感謝状をいただき、シェル社からの受注拡大への第一歩となりました。

SCESは、シンガポールの地元に根ざしたエンジニアリング会社として、これからも技術・技能を高め、東南アジアでの事業展開に貢献していきたいと思っております。